



平成 29 年 6 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社キタムラ
代表者名 代表取締役社長 浜田 宏幸
(コード番号 2719)
問合せ先責任者 常務執行役員管理部長 菅原 孝行
(TEL 045-476-0777)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、平成 28 年 6 月 21 日提出のコーポレートガバナンス報告書において、コーポレートガバナンスコード（補充原則 4－1 1 ③）における取締役会実効性の評価を平成 28 年度中に行い、その結果概要は開示予定であり、具体的な評価方法等は今後検討を進める旨の説明をいたしました。これを受けて、自己評価として取締役会の全メンバー（取締役及び監査役）に対するアンケートを以下のとおり実施し、当社取締役会の実効性について分析・評価を行いました。

1. 役員アンケートの実施概要

- (1) 対 象 者・・・全ての取締役及び監査役の計 14 名（取締役 8 名、監査役 6 名）
- (2) 方 式・・・記名式アンケート。各設問に対し、4 段階（一部 3 段階）評価
- (3) 実施期間・・・平成 29 年 3 月 16 日～3 月 31 日まで
- (4) 評価項目 合計 36 問
 - ① 取締役会の構成に関する質問
 - ② 取締役会の運営に関する質問
 - ③ 取締役会の議題に関する質問
 - ④ 取締役会を支える体制に関する質問
 - ⑤ 投資家・株主との関係性に関する質問

2. 分析及び評価結果の概要

- (1) コーポレートガバナンス強化の一環で、今期より取締役総数を見直したことや、他業種の経験と知見をもつ社外取締役の登用等により、社外取締役や監査役から積極的な発言も多く、活発な議論がなされており、業務執行の監督についての役割・責務を適切に果たしていると、概ね肯定的な評価が得られております。
- (2) 一方で、議題について、中期経営計画及び後継者計画に関する議論が不足していると認識いたしました。また、社外取締役及び監査役含む全取締役会参加者へ、議題及び資料の事前配布しておりますが、資料に基づいた議題に関する事前説明を含め、情報交換や認識を共有する場が不足していることを認識いたしました。

3. 実効性向上に向けた今後の取り組み

取締役会のさらなる機能向上を図るべく、前述の分析・評価を踏まえ、平成 29 年度取締役会の運営課題として、引き続き取締役会の中で中期経営計画等の議論の充実を進め、必要に応じた取締役会の運営等の改善、及びアンケート等の評価・分析の改善を継続的に努めてまいります。